

2012年12月6日(木)
開場16:00 / 開演16:30

大阪大学
豊中キャンパス内
スチューデント・コモンズ1F
開放型セミナー室
大阪府豊中市
待兼山町1-16 大阪大学
全学教育推進機構
総合棟 1

入場無料

小野博

1971年生まれ。1996年、多摩美術大学彫刻科卒業。2005年サンドベルグ・インスティテュート・ファインアート科修士課程修了。1992年から世界を移動し作品制作を始める。2002年からアムステルダムで生活している。1997年、コニカ写真奨励賞を受賞。2003年「旅—ここではないどこかを生きるための10のレッスン」(東京国立近代美術館)に出品。2008年、個展「大切なことは小さな声で語られる」(大原美術館)。著書にフォトエッセー『ライン・オン・ジ・アース』(エディマン/新宿書房)がある。

久保田裕之

1976年生。大阪大学大学院人間科学研究科・助教。専門は家族社会学、福祉社会学、政治哲学。シェアハウスなど家族的共同生活実践の調査を元に、家族/ケア/共同性に関する理論研究を行う。2007年からはアムステルダムをフィールドとし、住居のスクォッティング(不法占拠)といった社会運動と、社会保障制度の関係についての調査を行っている。著書に『他人と暮らす若者たち』(集英社新書)、『家族を超える社会学』(共著、新曜社)、学術論文に「家族福祉論の解体」『社会政策』3(1)など。

「世界は小さな祝祭であふれている」
寛容の国“オランダの生活に学ぶ、
日本社会の「生きづらさ」とは何なのか?
小野博 × 久保田裕之
「アムステルダム在住の写真家」
「社会学者」

